

**製品名: IL-8(13F8)マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM12571**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC, ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:100-1:200, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	11kDa

**抗原情報**

遺伝子名	IL8 CXCL8
別名	IL8
遺伝子 ID	3576.0
SwissProt ID	P10145
免疫原	IL-8 の合成 C 末端ペプチド

**背景**

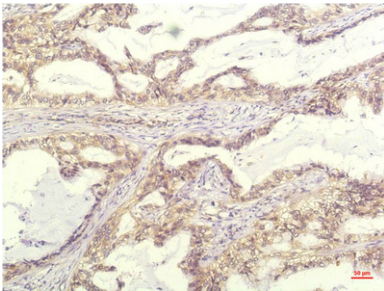
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、CXC ケモカインファミリーのメンバーです。このケモカインは、炎症反応の主要なメディエーターの1つです。このケモカインは、いくつかの細胞型によって分泌されます。これは走化性因子として機能し、強力な

血管新生因子でもあります。この遺伝子は、ウイルス感染によって引き起こされる一般的な呼吸器疾患である細気管支炎の発症に関与していると考えられています。この遺伝子と CXC ケモカイン遺伝子ファミリーの他の 10 のメンバーは、染色体 4q にマップされた領域でケモカイン遺伝子クラスターを形成します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]機能: IL-8 は、好中球、好塩基球、および T 細胞を誘引する走化性因子ですが、単球は誘引しません。また、好中球の活性化にも関与しています。炎症刺激に反応して、いくつかの細胞型から放出されます。IL-8(6-77)は IL-8(1-77)と比較して、好中球活性化活性が 5~10 倍高く、IL-8(5-77)は好中球活性化活性が上昇し、IL-8(7-77)は CXCR1 受容体および CXCR2 受容体に対する親和性がそれぞれ高い。、オンライン情報: インターロイキン-8 のエントリー、PTM: 少なくとも末梢血単球、白血球、および内皮細胞から分泌された後、タンパク質分解によって N 末端が処理されたいくつかの形態が産生される。一般的に、IL-8(1-77)はインターロイキン-8 と呼ばれる。IL-8(6-77)は最もよく知られている形態である。、類似性: インタークリン  $\alpha$  (ケモカイン CxC) ファミリーに属する。、サブユニット: ホモ二量体。、

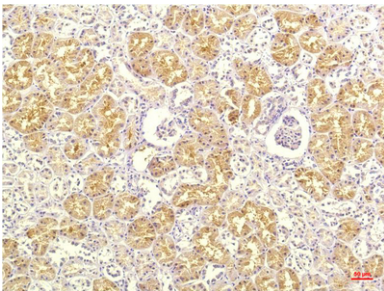
## 研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用、ケモカイン、Toll-Like、NOD 様受容体、RIG-I 様受容体、ヘリコバクター ピロリ感染における上皮細胞シグナル伝達、がんにおける経路、膀胱がん。

## 画像データ



1:200 に希釈した IL-8 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学分析。



1:200 に希釈した IL-8 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト腎臓組織の免疫組織化学分析。